

Chugin

News RELEASE



あしたも、いっしょに。

中国銀行

平成28年11月10日

株式会社 中国銀行

個人型確定拠出年金（愛称：iDeCo（イデコ））の取扱い改定について

当行では、より利便性の高い「個人型確定拠出年金（iDeCo）」サービスをお客さまに提供するため、平成29年1月4日（水）より「運営管理手数料の引下げ」および「運用商品ラインアップの拡充」をおこないます。

1. 取扱開始日

平成29年1月4日（水）

2. 「運営管理手数料」の引下げについて

「個人型確定拠出年金（iDeCo）」をご利用のお客さまに効率的な運用をおこなっていただくため、平成29年1月分より運営管理機関（当行）への手数料（消費税等込）を現行の月額「398円」から「305円」に引下げます。

<平成29年1月以降の各種手数料について>

（消費税等込）

手数料	内訳（支払先）	加入者	運用指図者
加入手数料	国民年金基金連合会	2,777円	2,777円
管理手数料	国民年金基金連合会	103円/月	-
	運営管理機関 （当行）	<u>305円/月</u>	<u>305円/月</u>
	事務委託先金融機関 （三菱UFJ信託銀行）	64円/月	64円/月
	合計	472円/月	369円/月
給付に関する手数料	事務委託先金融機関 （三菱UFJ信託銀行）	1回あたり432円	

運用指図者とは、新たな掛金の拠出をおこなわず積み立てた資産の運用指図のみをおこなう方をいいます。

3. 「運用商品ラインアップの拡充」について

「個人型確定拠出年金（iDeCo）」をご利用のお客さまの幅広い資産運用ニーズにお応えするため、平成29年1月4日（水）より次の投資信託5商品を追加し、取扱い運用商品を現行の15種類から20種類に拡充します。

当行の取扱い運用商品は定期預金に加えて、国内外の株式・債券・不動産・コモディティ（商品）の各カテゴリーの運用商品をご用意しており、お客さまのリスク許容度に応じた資産配分が可能です。

今般追加するインデックス型の投資信託については、信託報酬が低水準の商品を取り揃えており、平成29年1月以降、運用商品として選択できます。

<平成29年1月4日より追加する運用商品>

商品名	運用会社	信託報酬 (消費税等込)
投資のソムリエ<DC年金>	アセットマネジメント One	1.188%
DIAM 国内株式インデックスファンド<DC年金>	アセットマネジメント One	0.2376%
三菱 UFJDC 新興国債券インデックスファンド	三菱 UFJ 国際投信	0.5616%
野村世界 REIT インデックスファンド	野村アセットマネジメント	0.5724%
三菱 UFJ 純金ファンド	三菱 UFJ 国際投信	0.54%

投資対象とするETFにおける信託報酬を含めた実質的な信託報酬は年0.972%（消費税等込）となります。

4. その他

「確定拠出年金」は、公的年金に上乗せする私的年金であり、加入者の自助努力によって老後資産を形成する制度です。

平成29年1月の法改正により「個人型確定拠出年金（iDeCo）」をご利用いただける方の範囲が広がり、「企業年金制度のある企業にお勤めの方」や「公務員」、「専業主婦（夫）」の方なども加入できるようになります。

今般の「運営管理手数料の引下げ」および「運用商品ラインアップの拡充」により、幅広いお客さまに老後資産を形成する制度としてご活用いただければ幸いです。

以 上